

発明の名称

サイクロン分離装置及び住宅換気用給気フード

～小型化しても集塵性能や圧力損失が少ないサイクロン分離技術～

発明者

松村 昌典（北見工業大学）

技術概要

サイクロン分離装置は、吸気口側の一端が開口し、他端が閉止された円錐台形状の気流案内材を備え、側壁に複数のスリット状開口、案内羽根を配置した構成です。この構成により、吸気口から軸方向に吸い込まれた空気を回転しながら軸中心付近から外側に向かう半径方向の速度成分を持たせてサイクロン筒体内に流入させることができ、小型化しても圧力損失の増大を防ぎ、従来と比較して塵埃等の分離性を高くできます。

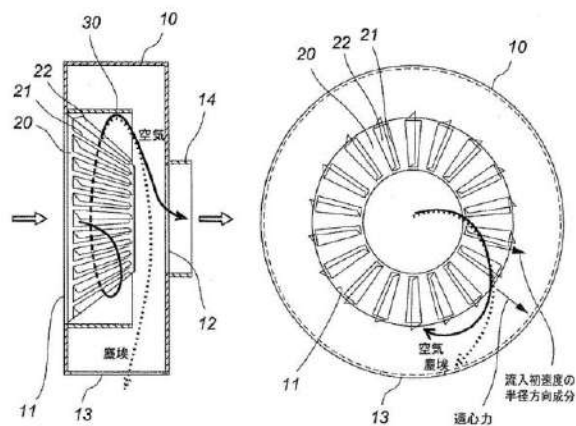
発明の目的

小型化した従来のサイクロン分離装置は、遠心分離されるまで塵埃の移動距離が長く、分離に時間がかかり、集塵率が低下するという問題点があり、これを解決するためのサイクロン分離装置、住宅換気用給気フードを提供するものです。

効果

本発明の構成により、小型化しても圧力損失の増大を防ぎ、塵埃等の分離性を高くできることから、これまで設置が困難であった空間にサイクロン式住宅換気用給気フードを配置できます。

図面



詳細はこちら

[工業所有権情報・研修館のサイトに移動します](#)

出願・登録

出願日	設定登録日	存続期間満了日
2016/03/04	2020/06/22	2036/03/04